



# 千歳セントラルロータークラブ

## ROTARY INTERNATIONAL District 2510

### RIテーマ「ローターに輝きを」

発行 千歳セントラルロータークラブ 会長 白木松敏 / 副会長 大久保 尚 / 幹事 坂井 治 / 会報委員会 委員長 齊藤博司  
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4-4 ホテルグランテラス千歳 TEL.0123-26-5788 FAX.0123-25-9112  
 Mail.membership-office@ccrc.jp HP.http://www.ccrc.jp Facebook.http://www.facebook.com/chitosecentral

#### WELCOME

**副会長 大久保 尚**

篠原 明典 様 北海道新聞社 千歳支局長

#### 会長あいさつ

**会長 白木 松敏**



みなさん改めまして今晚は。2015 年は、もう早 1 月が過ぎようとしています。インフルエンザにも気を付けながら活動しなければなりません。又、足元も大変、滑ります

ので夜の活動は特に気を付けていただきたいと思います。先日マスコミ関連の記事で原発、所謂、原子力発電の再稼働に付いてアンケート調査での結果を見ますと 30%の方が再稼働賛成、70%の方が再稼働反対と報道されておりました。なんと 7 割の方が反対と言う事で国民はきちんと見て考えているんだなと、つくづく感心致しました。事故が発生した際の対処の仕方の安全性も、まだまだ確立しておりません。だからこそ国民の不安は未だに払拭されないままで、このような調査結果が出たのではないのでしょうか。私達の住む北海道では泊原発があります。住民の避難計画も依然として不十分で安全性が確立しておりません。1 番大切なのは私達人間の命です。その人間の命をないがしろにしながら原発の再稼働を進めようとする事に対し非常に危機感を持っているのは、国民の 7 割なのです。さてみなさんはどう、お考えでしょうか？以上で会長あいさつとさせていただきます。

#### 幹事報告

**幹事 坂井 治**

- 千歳ライオンズクラブ、一般社団法人千歳青年会議所より新年交礼会出席に対するお礼状が届いています。
- 千歳ローターアクトクラブ第 10 回定例会のご案内
  - 日時：2 月 5 日 (木) 19:00～
  - 会場：ANA クラウンプラザホテル千歳
  - 会費：飲み物 1,000 円 食事・飲み物 2,000 円

#### 例会出席状況 (2015 年 1 月 20 日)

会員数	35 名
会員出席者数	20 名
欠席者数 (内：無断欠席)	15 (4) 名
出席率	57.14 %
ゲスト・ビジター出席者数	1 名
出席者数総計	21 名

#### 前回例会 確定出席率 (2015 年 1 月 13 日)

確定出席率 (MU 含む)	68.57 %
---------------	---------

#### 2 月 誕生月の会員

野口三恵子 会員	1955 年 (昭和 30) 2 月 12 日生
----------	--------------------------

○ 締切り：2 月 3 日 (火)

#### ● 入口博美会員よりクラブの皆様へメッセージ

「本来であれば、本日の例会に出席し先日の母の葬儀の件についてお礼を申し上げる場としなければなりません。札幌に出かけており時間が重なる為、欠席致します。皆様にはその後の例会にてお礼を申し上げます。」

また、羽芝涼一会員からも忌中は例会を欠席させていただきたいとのご連絡がありました。

#### 1 月誕生祝

白木会長から BGM に合わせてメッセージが贈られました。皆さん、おめでとうございます(^^)

- 齊藤博司 会員 1950 年 (昭和 25) 1 月 27 日生
- 坂井 治 会員 1951 年 (昭和 26) 1 月 27 日生
- 岩室秀典 会員 1960 年 (昭和 35) 1 月 7 日生
- 大久保尚 会員 1965 年 (昭和 40) 1 月 16 日生
- 岩下 誠 会員 1975 年 (昭和 50) 1 月 30 日生
- 井上英幸 会員 (欠席) 1957 年 (昭和 32) 1 月 19 日生



篠原 明典 様 略歴

香川県生まれ

1984 年 4 月 北海道新聞社入社

帯広報道部を振り出しに本社社会部、  
東京支社社会部

本社札幌圏部 (現報道センター) 部次長  
東京支社社会部 (現東京報道センター)

部次長

2011 年 7 月 本社運動部次長

2014 年 7 月 千歳支局長として着任

講師 北海道新聞社 千歳支局長 篠原 明典 様



当ロータークラブは 1990 年 11 月創立で今年が 25 周年ということです。先ほど会長からもありましたが、当社の支局長がこうして声を掛けて頂くのは初めてという事で非常に光栄に思っております。改めて有難うございます。レジュメをお配りしましたが、何を話すかと思っていらっしゃるかもしれません。私は本年度で社員登録 30 年になります。振り返ると私の 30 年は浮沈の新聞記者生活だったと言っても過言ではないかと思えます。そういった事を少し早口になりますがお話させていただきます。

昨年 12 月の総選挙で自公が圧倒的な形で過半数を制しました。この中でメインになっていたのはアベノミクスです。選挙前の報道ではこのアベノミクスは賛否が分かれておりました。昨年 7-9 月期の国内総生産 (GDP) 速報値は 2 四半期連続でマイナス成長となるなどアベノミクスの評価は分かれるといった報道もありました。その一方で、3 年前に泥沼の中にいた日本経済をアベノミクスにより現在デフレから脱却する道筋が見えてきた。個人の給与も将来に対する希望を持ち上げたというような報道でありました。蓋を開けてみたところ、圧倒的な多数で自民・公明党が政権を維持することになりました。しかしながら、朝日新聞に出ておりましたが、地方の景気回復に繋がるかどうかという全国世論調査を朝日新聞が行ったところ繋がらないという回答が 53%でした。現在当クラブの会員数 35 名と伺っています。サービス業、建設業、ドクターの

## ニコニコ BOX

進行 : 出席・ニコニコ箱委員会 委員長 菅原 百合子

大久保 尚 会員 : とうとう 50 歳になりました(^^)

坂井 治 会員 : 誕生日祝いをいただきました。

岩室秀典 会員 : 55 歳になりました(^^)v

岩下 誠 会員 : 誕生日祝い有難うございます。今月から介護保険が始まりました。

白木松敏 会員 : 今日は篠原様に無理やり卓話をお願いしてスケジュールを空けていただきました。今日は本当に有難うございます。宜しくお願いします。

松坂敏之 会員 : 商工会議所の関係で広島、高松、岡山に行ってきた。いろいろな商店街を見てきました。一番感じた事は、やはり身の丈に合った商店街づくりをすべきだと思いました。大きい所を見ても仕方がない。千歳市は千歳市の作り方があっていいのではないかと思いつつ帰ってきた。

齊藤博司 会員 : やっと年金がもらえる歳になりました。

本日のニコニコ BOX 合計額	8,000 円
今年度 累計額	496,516 円

## 本日の例会プログラム

通常夜間例会

「卓話 新聞力～挑戦する心～」

講師 北海道新聞社 千歳支局長 篠原 明典 様

担当 理事会 (会長 白木 松敏)

それでは、北海道新聞社 千歳支局長 篠原明典様の経歴を簡単にご紹介します。

方々など中小企業で奮闘検討されていらっしゃると思います。私の 30 年の浮沈の記者生活を振り返りながら、その中でアベノミクスより厳しい皆さん方に果たして好リークが回ってくるのはいつなのか、その手掛かりとなるような処方箋を私の中からきっかけでも掴んでいただければと僭越ながら話をさせていただきます。

新聞業界もかつては花形企業と言われていました。今やネットが台頭し席卷していく中で非常に厳しくなっています。新聞記者も今や 3K 職場といわれています。3K と言うときつい、汚い、危険。まさにそういう状況で日々やっております。年明けから非常に悪天候も続いていて、私共の支局は 3 人おりますが、朝の 6 時半、7 時から空港に取材に行きまして終わって帰ってくるのが 1 時半です。私も清水町で飲むのを我慢して支局員の帰りを待ちながら資料を出したりしています。そのように 3K 職場と言われております。私共だけでなく東京紙もそうですが、部数は減っております。ひと頃新聞が輝いていた時代がありその当時は超夕刊併せて 200 万部を突破しようという勢いでやっておりましたが、近年は極めて厳しい状況で先週、私共の本社で会議があり編集担当者から説明がありましたが、朝刊で 110 万部程度、夕刊で 50 万部程度とかなり厳しい状況となっています。そうした中で新聞がどうやって新聞力を発揮できるのかという事を、私の 30 年間の新聞記者生活と併せて振り返ってみたいと思います。新聞が輝いていたところというのはまさに私が現場にいたところではないかと考えています。入社して 10 年目に東京に行き政治をやってその後は・・・と考えたりしていました。ところが体調を崩し一年で左遷という訳ではありませんが社会部に飛ばされました。非常に腐ることもありました。さあどうしようかと思いました。東京の大学出身でしたから政治記者を志して東京に戻りましたが一年で社会部に戻りました。この窮地をどうやって脱しようかと考えました。そうしたところ、たまたま大学時代の知り合いからスクープのネタが転がり込んできました。1996 年 9 月に「野村、巨額損失補てんか」と言う記事が皆さんのお手元にあります。実は一年で政治記者を落第してその翌年、大学時代の証券業界



関係者と話をしておりましたら、野村証券が大物総会屋に利益供与をしていて証券取引等監視委員会が聴取するという話を聞きました。これはいいネタだと思いました。というのも野村証券の事件となると世間を騒がせた東京地検特捜部のいわゆる中央ネタです。中央ネタをスクープする機会に遭遇したということで、これを起死回生のテーマにしようと半年がかりで私なりに事件を取材しました。そして夏にはある程度輪郭がみえてきました。小池隆一という大物総会屋に利益供与していたことがみえてきました。それで私は社会部の人間でしたのでやはり証券業界の事件ですから経済部の記事です。そこで調査報告ということで取材していましたが経済部の記者に話を持ちかけました。六本木の喫茶店で話をし、よしやろうということになりました。その時僭越ながら私が意識したのは米紙ワシントンポストのウォーターゲート事件でこれを思い描きながら取材をすすめました。そして日刊ゲンダイ、夕刊フジが動き始めました。一般紙はなかなか動きません。こういった状況を睨みながら 9 月に我々がスクープを出しました。そのスクープとなったのが「米、イラクを攻撃」の脇にある記事です。アメリカがイラクにミサイルを攻撃し我々の記事が飛んでしまっていてこのようになりました。地方紙で、自分で申し上げるのも何ですがスクープとしては抜いていたと思います。

—— 美幌支局時代の「安全なまち」づくりのための情報提供、留萌支局時代の書店誘致などについてお話していただきました。(中略)

今回、昨年 7 月 1 日、運動部から千歳に着任いたしました。美幌、留萌、そしてこの千歳は私にしてみると新聞記者生活 30 年の集大成の一年にしたいと思っています。まずビール企画を立ち上げました。なんと言っても水が美味しいです。水が美味しければ千歳はキリンビール、恵庭はサッポロビールということでビールが旨いです。つまみも旨いです。その後、ANA、JAL 等のキャビンアテンダントは誰でも見っていますが、そうではなく地上で働く女性を応援したいと働く女性を紹介する企画をしました。更には、市議会を傍聴しよう、ビールの続編としてワイン企画、千歳と言えば生産量全道一の卵をアピールするたまごまんじゅう&ジョニーウォーカー、また私共の会議室がありまして 20 年になりますが、なかなか会議室を使った企画はないという事で、新聞社という敷居が高いと思われるので開かれた新聞社ということで知り合いのイラストレーターの作品展を開き一週間で述べ 200 人以上が来場し反響を呼びました。それもこれも地域を巻き込んで、パソコンが普及して新聞力の陰りが出てくるそして本格的なネット社会が到来する中活路を見いだせるのか、そういった新聞力の

衰退とネットに圧倒される中でどうやって我々が日常的に作っている新聞力を取り戻せるのかとやってきました。浮いたり沈んだりしながら人生も双六と同じですが私よりも先輩の方々もいらっやいます。私も東京に行ってはまた戻ってくるのを繰り返しながら、こういう素敵な所に来ました。ここに残っております。初めに話したように野村証券の利益供与事件で私が協会賞を取っていたなら如何ともし難いですが、もし協会賞を取っていたならここでこうして皆様方に拙いお話をさせていただく機会も無かったかと思ひます。しかし、こうして皆様とお会いして非常に嬉しく思っております。

最後になります、去年は申し上げたような事をいろいろやってきました。そして今年も更に地域を巻き込んだ読者参加型、地域参加型の紙面づくりを行っていきます。千歳においても恵庭においても既に仕掛けをしました。これは、機が熟した際には本紙でご紹介出来る事になるのではないかと思います。私自身、敢えてチャレンジマインドと言ったのは挑戦する心ということで、前回の東京五輪で円谷さんは頑張りすぎてしまって結局伸びずに終わり、その先は自死という非常に残念なことになってしまいました。私がこの 30 年を通して若い人達に言いたいのは頑張らなくていいんだよということです。頑張らないで奮闘、検討する。そして挑戦する。いわゆるチャレンジマインドで精神でなく心でチャレンジしていただければと思います。そうするとその先には人です。自分が納得、得心するそういった展開が開けてくるのではないかと思います。30 年を駆け足で振り返ってきましたがこうして皆様とお話させていただく機会をいただきまして大変有難く思っています。皆様方も是非頑張らないで奮闘、検討する心を持ってアベノミクスはどうなるかわかりません。しかしながら、きっと一年先には皆様方が処方箋を自らお知りになってそれを基にして展開していけば、必ずや将来が見えてくるのではないかと思います。少し早口で聞きにくかったかもしれませんが、有難うございました。

**謝辞 会長 白木 松敏**

篠原支局長、本日は大変有難うございました。

**次回例会案内**

**プログラム委員会 委員長 高木 昌人**

今回は 27 日 (火) 通常例会開会点鐘 12 時 30 分、定例会場です。テーマは「新会員研修会を終えて」ということで、昨年 12 月に新会員研修会を終えた私を含めたメンバーが感想を述べて修了証書授与式を行います。宜しくお願いします。

**NEWS & TOPICS**

**2015-2016 年度テーマ「世界へのプレゼントになろう」**

1 月 18 日 (日)、米国サンディエゴで開催した国際協議会で、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長エレクト (スリランカ、コロンボ・ロータリークラブ会員) が、2015-16 年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。



**SCHEDULE**

1 月	27 日	■新年交礼会 ■上半期活動・会計報告 通常例会「新会員研修会を受講して」[担当/クラブ 研修、新会員研修委員会(岩下委員長、彦坂副委員長)]
	3 日	■ロータリー理解推進月間 ■ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日 ■雪見酒 ■ガバナー補佐研修セミナー(地区) 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会]
2 月	10 日	通常例会「国際奉仕検証ツアーの報告」[担当/地区 国際奉仕委員会(田口副委員長)]
	17 日	移動親睦夜間例会🍷「雪見酒 in ゆきあかり」 会場：ゆきあかり(幸町 2 丁目 3-2) [担当/親睦 活動委員会(関根委員長、井上副委員長)]
	24 日	通常例会「創立 25 周年記念事業について」[担当/ 創立 25 周年準備委員会(今井委員長、武田副委員長)]
3 月	3 日	■識字率向上月間 ■ローターアクトの日 ■会長エレクト研修セミナー(地区) 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会]
	10 日	通常例会「未定」[担当/社会奉仕委員会(松坂委員長、清水担当副委員長)]
	17 日	親睦夜間例会🍷「未定」[担当/親睦活動委員会 (関根委員長、井上副委員長)]
4 月	7 日	■ロータリー雑誌月間 ■地区協議会(地区) ■清掃奉仕活動 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会]
	14 日	通常例会「未定」[担当/広報委員会(四方委員長、 武田副委員長)]
	21 日	親睦夜間例会🍷「未定」[担当/親睦活動委員会 (関根委員長、井上副委員長)]
	28 日	通常例会「清掃奉仕活動」[担当/社会奉仕委員会 (松坂委員長、多賀担当副委員長)]